
モグラバンジージャンプ

4 & 4 K

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

モグラバンジージャンプ

【Nコード】

N9320E

【作者名】

4&4K

【あらすじ】

バンジージャンプに感動したモグラが、ジャンパーを目指す作品。

（前書き）

昔投稿した残骸を加筆したものです。
中二病の能力が下がっていることを痛感しています。

その時、彼はある庭の花壇から顔を出し、あるテレビ番組を目撃してしまった。

「お父さん、バンジージャンプって凄いね！」

「ああ、父さんもやったことあるぞ。あれは怖い」

彼は花壇からのそのそと移動し、ゆっくり近づく。

「モ、モグウー！」

と、主人公のモグラは驚きの声を発した。

ちなみに、普通のモグラはそんな鳴き方はしない。そんなの聞いたこともない。聞いたことがある人がいたなら、それは彼しかない。

「モグモグ！」

訳：こんなに素晴らしいものがあつたのか！

「モグモグモグ！」

訳：こりゃ、ミミズを食べている場合じゃないな！

モグラは穴を掘り始め、この家の庭から出ていった。

モグラは、偶然近くに落ちていた雑誌によって、バンジージャンプの詳細を目にした。だが、所詮はモグラである。人様の文字が読めるはずはないのだが……モグラは感動していた。

そして、動物的勘によって文字を解読する。

「モグモグ！」

訳：山形県朝日村！

モグラは、山形県朝日村に向かって地中を掘り進む。

途中で何度も挫折そうになりながらも、モグラはバンジージャンプのために必死になって穴を掘りつづけた。

空腹時、たまたま強襲した畑でモグラ用の罠に串刺しにされそうになったが、それも動物的勘で回避する。

希望に満ちた今の彼を止められるものはいないだろう。

数日経ち、モグラはとうとう山形県朝日村に到着した。

山形県朝日村のバンジージャンプは、日本で一番最初にバンジージャンプを開催したことで有名である。

梵字川に向かって、ふれあい橋からジャンプは、約三四メートルの高さがある。

「モ、モグ……」

訳：た、高い……。

モグラにとつての三四メートルとは、どんな感じなのだろう。だが、このモグラは勇敢にもふれあい橋をゆつくりと渡り始める。

そして、ここに来て、驚愕の事実を知ることとなる……。

「モ、モグウウウー!!」

訳：な、なにiiiiiiiー!!

「モグモグモグウー!」

訳：年齢制限があるだとおー!

ここでは一三歳以上しかできないのである。

もちろんこのモグラは、そんなに生きてはいない。根性でどうにかなる問題ではないのだ。モグラ的には何歳だとか、そんな甘いことが通用するものでもないだろう。

しかしモグラは諦めなかった。

係員の足元にそつと近づき、目で訴える。

係員もモグラの存在に気がつき、ひとりと一匹はしばらくの間無言で見つめあった。

キラキラキラキラ……つぶらな瞳が訴える。

「う……っ」

モグラの訴えに反応した係員。危険だとはわかりつつも、モグラの願いを聞き入れることにした。

さすがに、足にロープをつけることはできないので、体につけてから飛ぶことにした。

「真っ直ぐに前を見て、両手を広げて飛んでください」

「モグッ！」

訳：了解っ！

「……………」

モグラはなかなか飛べないでいた。

係員は、心の中で声援を送りながら、モグラが飛ぶ瞬間を見守っていた。

（思えば、モグラのバンジージャンプなんて初めて見るな。世界でも俺だけだろう）

貴重な体験をした係員は、そんなことを思っていた。

モグラがゆっくりと前に倒れ……飛んだ。

「モ、モグウウッ！」

産まれて初めての体験であるバンジージャンプ。

モグラは感動した。達成感が全身を包み、宙にぶら下がっていた。

係員との握手（？）が終わり、モグラは帰ろうとしていたところ、

そこに、もしかしても偶然雑誌が落ちていた。

「モ、モググ！」

訳：こ、これは！

群馬県利根郡新治村猿ヶ京にあるバンジージャンプスポット。

そこは、世界で三番目、日本で一番の高さを持つバンジージャンプスポットだった！

（後書き）

今では日本のバンジージャンプスポットはほとんど閉鎖されています。昨今いろいろ訴えられまくりの社会ですからね！。触らぬ神にたたりなしってことなのでしょう。感想お待ちしています。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9320e/>

モグラバンジージャンプ

2010年10月28日08時02分発行